



碧南ロータリークラブ週報

第3143回例会 令和7年10月15日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

2025-2026 年度
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

●斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

第2760地区ガバナー 鈴木康仁様（蒲郡RC）

〃 幹事 小池高弘様（蒲郡RC）

歓迎の辞 及び 会長挨拶

失礼致します。

本日はガバナー公式訪問ということで、ガバナーの鈴木康仁様をはじめとすご来訪の皆様、並びに高浜 RC の皆様には碧南の地にお越しくださしまして、誠にありがとうございます。

ガバナー公式訪問ではいつも一緒させていただいております高浜 RC さんですが、他にも安全運転や防犯などの警察関連の会や、昨年、水野会長様がおまんと祭りのお話をされていましたが、我が地区のお祭りなどでも大変お世話になっております。

高浜と言えば、かわら美術館が有名ですが、瓦についてお話しさせていただきます。私も瓦で出来た江戸期の照明器具の瓦灯（がとう）と呼ばれる行燈形式の灯火器を収集しておりますが、先日お会いしました丸栄陶業の樫山善久先輩も今でも古瓦の収集をされているとお聞きしました。天平の古瓦などにお刺身を盛り付け、魯山人の如く、料理半分、器半分の料亭の盛況ぶりが全国の瓦愛好家の多さを物語っております。



黒田泰弘会長

島根県の「石州瓦（せきしゅうがわら）」、兵庫県の「淡路瓦（あわじがわら）」と並び、高浜市の「三州瓦（さんしゅうがわら）」は日本三大瓦の1つですが、厄除けとして日本家屋に使われている鬼瓦を作る鬼師たちの多くが集まる場所としても有名で、「鬼師の里」としても知られております。

美術館玄関前の「瓦製巨大シャチ」は、美術館のシンボルであると同時にそんな高浜市の顔でもあります。産地にふさわしいモニュメントとして制作されたのは30年前のことで、1995年の開館に合わせて、地元の27人の鬼師たちが共同で作り上げました。ちなみにモデルとなったのは名古屋城の金のしゃちほこで、サイズは高さ3.3mもあり、約4.5tの粘土を使っております。

誕生から長い年月が経ち、経年劣化は避けられず、ひび割れ、欠けといった傷み、色落ちなどが目立つようになってきました。そこで、設置から30年を機に化粧直しをすることになり、高浜市がふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングで資金調達をし、修復費用に充てることとなりました。私も募金最終日にかわら美術館に出向き、担当の山本様にお電話させていただきましたところ、クラウドファンディングにて十分な資金調達が出来ましたとお聞きしましたので安心しました。

かわら美術館では過去に私の知り合いの豊川市のホーロー看板コレクターの佐溝力さんや、西尾市の画家の斎藤吾朗さんも企画展にてお世話になり、私も大変親しみを感じる美術館です。巨大シャチが今週の18日にお披露目ということでしたので、少し触れさせていただきました。皆様にも是非ご覧いただきたく存じます。

さて、本日お話をいただけますガバナーの鈴木康仁様ですが、RI会長の突然の交代劇で、これまで大変なご心労があったこととお察し致します。本年度直前の会長・幹事会の場合でも、本年度に向けての事柄をエレクトの私たちに大変丁寧にご教授いただき、そのお人柄には深く感銘を受けた次第でございます。

本日は会員の皆様と共に鈴木康仁様のお話を基に両クラブの更なる発展に繋げて行きたいと思っております。お時間の都合で簡単ではございますが、以上で私の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願い致します。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 58 名（内出席免除者 14 名の内出席者 9 名）出席者 47 名	
出席対象者 47 / 53 名	出席率 88.68%
欠席者 11 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

第2760地区ガバナー 鈴木康仁様、地区幹事 小池高弘様より大変たくさん頂戴しました。

黒田 泰弘君 } 鈴木ガバナー・小池地区幹事様、本日はようこそ碧南の地へお越し頂き、
岡本 耕也君 } 誠に有りがとうございます。心より歓迎致します。
永坂 誠司君 }
岡田 竜治君 現在、大変話題になっているエスパシオナゴヤさんにて岡島さんの計らいにて大変リッチな食事を頂きました。ご馳走様でした。

ガバナー 公式 訪問

第2760地区ガバナー 鈴木康仁様

改めまして、皆さん、こんにちは。

本日は碧南 RC の皆様のご設営で、高浜 RC の皆様とも合同のガバナー公式訪問ということでお邪魔させていただきました。



鈴木康仁様

本日はよろしくお願い致します。スライドでお話をさせていただく前に、各クラブの会長さんの本年度の思いに対して、一言ずつ述べさせていただこうと思います。

まず、碧南 RC さんですが、黒田会長が掲げられた方針は「Enjoy Rotary」です。この言葉には、ロータリーの本質を見事に捉えた力強さがあると感じさせていただいております。奉仕を楽しみ、仲間との時間を楽しみ、学びそのものを楽しむ。その楽しさの中に活動が続けていく原動力が生まれるのだと思います。黒田会長はその思いを活力あるクラブ運営という形で具現化されておられます。楽しさというのは決して軽やかさだけではないと思います。仲間を尊重して互いに思いやる、そして一緒に笑顔で取り組む、それこそがロータリーの原点だろうと思います。碧南 RC さんが築いてきた温かさと風土が、地域に活力と信頼をもたらしているのだというふうに感じさせていただいております。

そして、高浜 RC さんの奥村会長が掲げられた方針は「みんなでやる」です。非常にシンプルでございます。それでも、この言葉にも実に力強さを感じさせていただいております。どんな奉仕でも、どんな親睦でも、1人ではできない。「みんなでやる」という言葉には協力し合う、励まし合う、そして進もうという、ロータリアンらしい精神が息づいておられるのだというふうに思っております。奥村会長は奉仕と親睦のバランスを大切にしなければならないというふうにも言われております。クラブ全体が1つになって活動できるように考えられておられるということです。その姿勢こそが高浜 RC さんの温かさと一体感の源なんだというふうに感じさせていただきました。本当に頑張っていたいただければなと思います。

さて、本年度の RI 会長はフランチェスコ・アレツォさんと言います。イタリアの歯医者さんです。本年度に入る1カ月前の6月10日ぐらいだったと思いますが、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴさんが辞任すると言われまして、私も困りましたけれども、一番困ったのはクラブの会長さんだと思います。ですが、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴさんが掲げられたものや重要項目が全て踏襲されるということでしたので、私

も会長さんたちもホッとされたかと思います。

本年度から毎年掲げられておりました **RI** のテーマというのがなくなりました。**RI** の会長のメッセージということで出ております。「よいことのために手を取りあおう」というのが本年度のメッセージ、方針ということになります。何をやらなくちゃいけないのかということですが、会員増強、ポリオ根絶、平和の構築、この大きく3つであります。

会員増強については1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強になりまして、とにかく会員増強に力を入れましょうということでございます。ロータリーというのは出会いの縁を結ぶ場だと思っておりますし、新しい仲間を増やしていくということは本当に大事なことなんだろうと思っております。

次にポリオ根絶です。ポリオと言われてもすぐにはピンとこない方もいらっしゃるかと思います。これをロータリーが根絶するまで頑張ろうと言って、ずっと最初から関わってきました。あと少しで根絶のところまでできました。これは世界の子供たちとの約束なんです。ですから、最後までやり遂げようということです。

そして、平和の構築です。**Positive Peace**（積極的な平和）ということです。青少年交換、グローバル補助金、国際奉仕などで皆さんは各クラブでいろいろなことをやられていると思います。私は特に大事なものは青少年育成だというふうに思っております。ロータリークラブはいろいろやっております。インターアクト、ローターアクト、**RYLA**、青少年交換、日本独自で言えば米山奨学。これは次代を担う子供たち、世界と我々との架け橋になっております。ですから、青少年育成というのは私たちにとって、平和の構築の礎になるのだというふうに強く思っております。

ここから少し地区の話をしていただこうと思います。私は本年度ガバナーをさせていただいておりますけれども、次年度の國府谷俊盛さん、次次年度の永井伸治さんまでは決まっております。

さて、本年度の地区方針ですが、それでも「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！」～夢と希望に満ちた未来の実現に向かって絆を深め 奉仕の歯車を力強く回そう！～とさせていただきました。「入りて学び 出でて奉仕せよ」これがロータリークラブだと思います。私もこのお役をいただく時にロータリーというものを勉強しなきゃと思って、必死になってやりました。でも、ロータリーって学んでも学んでも、学びきれものではないくらい深いです。やっぱり、ロータリーを知らないで活動するよりも知って活動する方が楽しいと思います。また、それぞれのクラブは地域に根差してやっております。ですから、このような方針にさせていただきました。

これは私が大好きな言葉で、皆さんにぜひご紹介をしたいと思って書かせていただいております。

- ・縁尋機妙（えんじんきみょう）

良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展していく様は誠に妙なるものがある。

- ・多逢聖因（たほうしょういん）

良い人に交わっていると良い結果に恵まれる。

- ・錯集文成（まじりあつまりあやをなす）

社会というのは異なる人同士が集まり、意見が違ふからこそ議論が成り立ち、発展性がある。異質な者を排除しない世界。それが質の高い集まりである。

この3つの言葉を1年間言い続けていると思います。皆様のご記憶に残していただくとありがたいなと思います。

次にロータリー行動計画として、

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的なかわりを促す
- ・適応力を高める

という4つがございます。「3-Year Rolling Goals」という言葉が昨年から出ております。各クラブの3年間の目標値をクラブセントラルに入力していただきました。2年目には1年目の見直しを図って、4つの優先事項に沿って新しい目標値に設定し直すということをお願いしております。

さて、ポリオ根絶運動ですけれども、4月20日に地区研修協議会がございました。その時にコロナで有名になりました尾身茂先生にお越しいただきました。尾身先生はロータリーのポリオ根絶のことにもものすごく理解をしていただいて、最初から関わっていただいております。ですから、我々との関わりをものすごく知ってございますので、ぜひ皆さんに聞いていただきたいということでお話をさせていただきました。今、ポリオ根絶アンバサダーになっていただいております。

さて、ここからはお願いになります。地区大会の登録と参加のお願いです。1日目は11月8日（土）に穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、2日目は11月9日（日）に豊川市総合体育館で開催されます。ここで注目していただきたいのは1日目です。青少年・学友フォーラムを大々的に行おうと思っております。我々は青少年育成のためにずっとやっておりますけれども、その青少年の方たちに来ていただいて、その体験を語っていただこうと思います。ぜひ皆さんに来ていただきたいと思います。

さて、国際大会と地区ナイトの登録でございます。2026年6月13日（土）～17日（水）に台湾の台北で開催されます。国際大会の登録もさることながら、地区ナイトの登録もぜひお願いをしたいところでございます。大勢の方にお越しいただければなと思います。

最後になります。地区はクラブのためにあります。クラブのリソースですので、ぜひ地区をご活用していただければと思います。「笑門来福」笑う門には福来たるでございます。笑っている時ほど素敵なことはないですね。皆さんが笑い合ってクラブ活動をする姿を目にすると、このクラブは本当に楽しいんだなというふうに思います。楽しんでロータリーをやらなくちゃ意味がないような気が致します。本年度が素晴らしい年度になりますことを心からご祈念申し上げて、卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

謝 辞

本日は鈴木康仁ガバナー、わかりやすい卓話をありがとうございました。

RI 会長が突然変わったというところから始まりまして、RI のメッセージ、地区方針に至るまで非常にわかりやすくお話しただけまして、まだまだお話を聞きたいところではございますが、会員増強、ポリオ撲滅が今年度の重要事項ということが、ガバナーのお話を聞いて心にしっかり焼き付いたところでございます。

高浜 RC では9月25日にポリオの根絶チャリティコンペを開催させていただきました。碧南 RC の皆様にもご参加をいただき、本当に感謝致します。ありがとうございました。我々碧南 RC、高浜 RC は1年間を通してポリオ根絶に向けて頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、本日ガバナー公式訪問をご設営いただきました碧南 RC の皆様、ありがとうございました。これで私からの謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。



高浜 RC 奥村晋平会長

次回例会案内

令和7年10月29日（水）

卓話「生成AIトレンド解説」

あんずコンサルティング 代表・中小企業診断士 鈴木基之氏